

【団員選考について】

**Q 選考会の選考基準は？**

A 大野城市の代表としての、本人の意欲（積極性）や協調性、リーダーシップ（責任感）などを見ます。英会話能力が高ければ理想的ですが、それ以上に、自分の思いを伝えること、相手を理解しようと努力する姿勢を評価対象とします。（選考は複数の試験官がそれぞれの項目別に点数を評価し、総合的に判断します）

**Q 選考について、学年（年齢）ごとの人数はどの程度の割合になるのか？**

A 学年（年齢）ごとの割合については、選考を行う中で総合的に判断します。

**Q 選考会後に団員を辞退する場合は？**

A 原則として、選考会後に団員を辞退することはご遠慮いただいています。万が一、個人の都合で辞退する場合、やむを得ない事情であっても、本研修の旅行料金の一部をキャンセル料としてお支払いいただくことがあります。

【事前・事後研修について】

**Q 事前研修や事後研修に参加できない場合はどうするのか？**

A 学校行事や親族の不幸事など、突発的な事案については配慮いたしますが、基本的にはすべての研修に参加することが条件です。場合によっては団員の決定を取り消す場合もありますことをご了承下さい。

部活の練習や英語検定であっても欠席の理由としては認められません。中体連の大会などは考慮しますので、事前に相談してください。

学校の補講など授業に関しては、公欠の必要があれば対応できますので、必ず事前に相談してください。ただし、公欠扱いになるかどうかは、最終的に学校の判断によります。

**Q 事前研修の英会話研修の時間が少ないのではないかと中学1年生などは特に厳しいと考える。**

A 英会話研修では、実践的な日常会話を練習します。大切なのは相手とコミュニケーションを取ろうとする気持ちであり、現地での会話は身振り手振りや単語を並べるだけでもかまいません。本研修は英会話力の向上が目的ではなく、国際交流を通して、外国の文化や自然を体験し、責任感や協調性を育み、視野の広い青少年を育成することが主旨であることをご理解ください。

**Q 持ち帰って行う課題があるのか？**

A 事前研修では、現地生徒との交流会において発表する班別の課題を役割分担しながら作成しますので、各班員が持ち帰る作業が発生する場合があります。また、個人の課題や作文など、研修時間内に終わらなかった場合は、持ち帰ってもらうこともあります。

## 【本研修について】

### Q 本研修時のオーストラリアの気候は？

A 本研修時オーストラリアは冬です（日本と逆）。もともと一年を通して温暖な気候ですので、春の気候に近いですが、天候により気温差があります。また、ほとんど雨が降らず、とても乾燥しています。

### Q 携帯電話（スマートフォン）を持たせてよいのか？

A 携帯電話（スマートフォン）を持たせることについて、禁止する意向はありません。ただし、携帯電話等を持たせる場合には、「緊急時のみ使用し、SNS への投稿、友達や家族との通話やメールは原則禁止」のルールを厳守してください。

### Q オーストラリアでのホストファミリーはどのように決定するのか？

A ホストファミリーの決定は訪問先の学校「キャッスルヒル・ハイスクール」が行います。事前に提出していただく自己紹介カードを参考に、年齢が同じ（または近い）子どもがいる家庭をホストファミリーとして選定してもらいます。

### Q オーストラリアの治安は？

A オーストラリア政府が公表しているテロ警戒レベルは、現在、全5段階のうち下から2番目と高くはありません。しかし、現地の空港や繁華街、飲食店等では、置き引き・スリ・ひったくりなどの犯罪被害が報告されています。外出時は貴重品を車道側に持たない、人前で不用意に財布の出し入れをしないなど、自分の荷物は常に緊張感をもって管理する必要があります。

### Q 緊急時の対応は？

A 基本的にこども・若者政策課の引率者、旅行会社の添乗員が対応します。保護者に連絡が必要な状況となった場合は、こども・若者政策課職員（日本国内と現地）が連携して対応します。

### Q 本研修中の様子を、SNS 等（フェイスブックなど）で知ることができるか？

A 本事業は、青少年の育成を目的とした「研修」であり、緊急時を除き渡航中の団員の様子はお知らせしません。

## 【事後活動について】

### (1) 青少年リーダー研修団体または国際交流協会への入会

Q 研修終了後、どちらかの団体に必ず入らなければならないのか？

A 研修終了後、どちらかの団体に入会することを本研修の応募条件としています。

### (2) ホストファミリーとしての受け入れ

Q ホストファミリーとして、必ず受け入れをしなければならないのか？

A 来年（令和6年度）オーストラリアの生徒が本市を訪れる予定です。その際、ホストファミリーとして受け入れにご協力いただくことを応募条件としています。